

# 学問の自由は平和の大前提

COLUMN  
県内  
大学発  
経世済民

573

## 埼玉学園大学

菅政権が携帯料金引下げ等を早期に実現すれば、国民の支持で長期政権に。これが小泉政権当時の「迷」軍師の作戦だ。菅氏はかつて四割引き下げを打ち出したはずだが。

### ■苦勞人の叩き上げ

秋田の農家に生まれ集団就職で東京へ、といつと立志伝中の人物。集団就職は中学校を卒業しての子どもが、夜行臨時列車で埼玉や東京にきて中小企業に就職したこと。菅氏は北大を目指したが、進学できず、東京に出てきたといつ。その後、法政大学に進学し、政治家への道を歩む。

私も秋田出身で、北大を目指すも能力・勉強不足で二度挫折。大学院でなんと三度目。法政大

学で経済学を学んだが、大学院に入れてくれず他大学の大学院へ。

### ■安倍政治の間

前政権は、内閣人事局をフル活用して官僚を抑え込んだ。出世しないといつとところに天下りできない官僚は、官邸の意向を村託して文書破棄・改ざん・捏造を行った。マスコミを恫喝したのか、政権に批判的な学者がテレビ等から消えた。安政法制を通すため、内閣法制局長官を政権に都合のいい人物にすげ替えた。

モリ・カネ・サクラ等、目に余る権力の私物化、これが安倍政治。

## 相沢 幸悦 特任教授



あいざわ・こいすけ 1950年生まれ。秋田県出身。法政大学卒業、慶応義塾大学大学院博士後期課程修了。埼玉学園大学特任教授、経済学博士。著書「定常型社会の経済学」(ミネルヴァ書房、20年)。

ただ、政権の言つことを聞く人物を検事総長にと法解釈を変えたが、国民の轟々たる批判を受け撤回。元検事総長まで反対に回つた。日本国民の大勝利！これも安倍政治の継承か、菅氏は国家の根幹を揺るがす決定を下した。

日本学術会議の新会員候補6名の任命拒否。安政法制や共謀罪法等に反対したからか？学術会議は学者が戦争に加担した反省に基づいて、政府から独立して政府に提言等をする機関で、大学は軍事目的の研究をせすとの基本姿勢を堅持してきた。

■学問の自由はなぜ必要か  
戦前ドイツの経済力を倍に、アメリカを半分にして、対米戦争に勝てるのか、日本の経済力を改ざんして、経済的にアメリカと互角とするデータを国民は鵜呑みにした。かくして国民は.....

鬼畜米英！で凝り固まる。

正確なデータに基づいて発言するのが学者だが、正確なデータ公表も、戦争批判も国家による弾圧で封殺された。国民は大本営発表に歓喜した。その帰結は300万人の犠牲者と焦土と化した国土。アジア諸国に筆舌に尽くしがたい被害を与えた。

学問の自由が保障され、学者が正確なデータと見解を提示して、戦争の無謀さを主張したら、世論は戦争回避の為、政治家よ全力を投入せよたつたろう。東アジア諸国への侵略もなかったはず。日本外交の真価を発揮できたかも。

だが、軍部は戦争遂行の為、学問の自由を完全に剝奪した。学問の自由は自由の範疇に入らな、わざわざ「日本国憲法」に入れたのは、日本を二度と侵略戦争に踏み込ませないよう、戦争責任をとる為だった。そこに士足で踏み込んだ人物こそ菅氏なのだ。

もちろん、官僚と違って真理を探究する学者・研究者が、黙ることも、政治家の意向を忖度する(こも、媚びへつら)ともありえない(但し「御用学者」は除く)。菅政権は、厄介な「人々」を敵に回したものだ。